

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成21年1月1日

(2)調査対象期間 平成20年10月～12月期の実績および平成21年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	15社	50.0%
水産業部会	30社	15社	50.0%
機械工業部会	30社	19社	63.3%
建設業部会	30社	16社	53.3%
観光・サービス業+諸業部会	30社	15社	50.0%
合計	150社	80件	53.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況はほぼ横ばい・来期は大幅な悪化見込み－

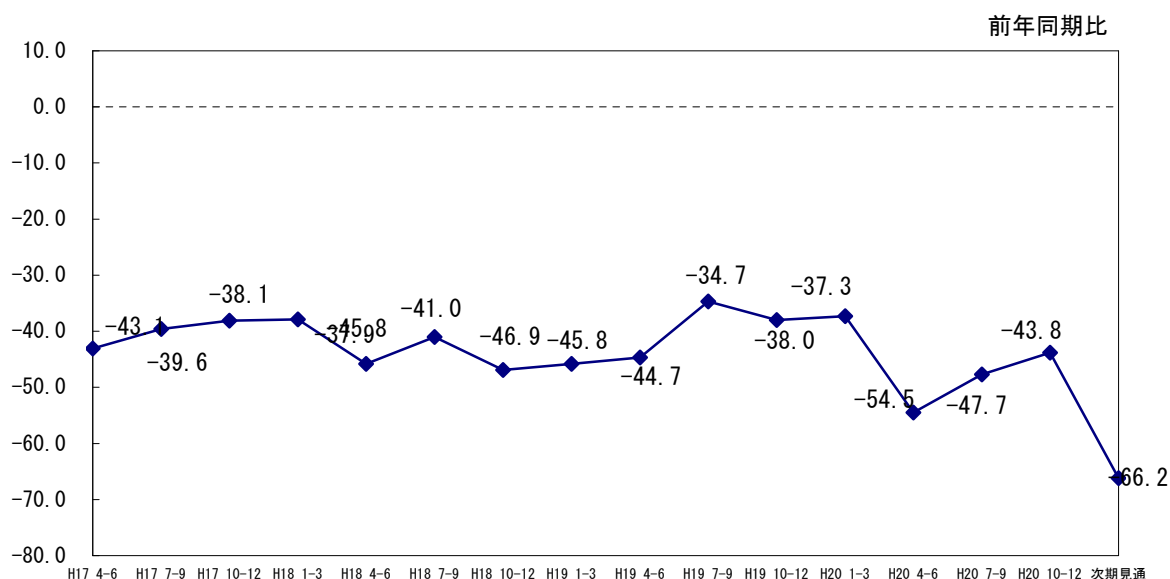
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成20年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△43.8**と前回調査時の△47.7より**3.9ポイント改善**しました。ほぼ横ばい基調で推移しておりますが、全業種のDI値を見ますと、依然としてマイナス水準からは抜けられず、市内経済を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いていると思われまます。

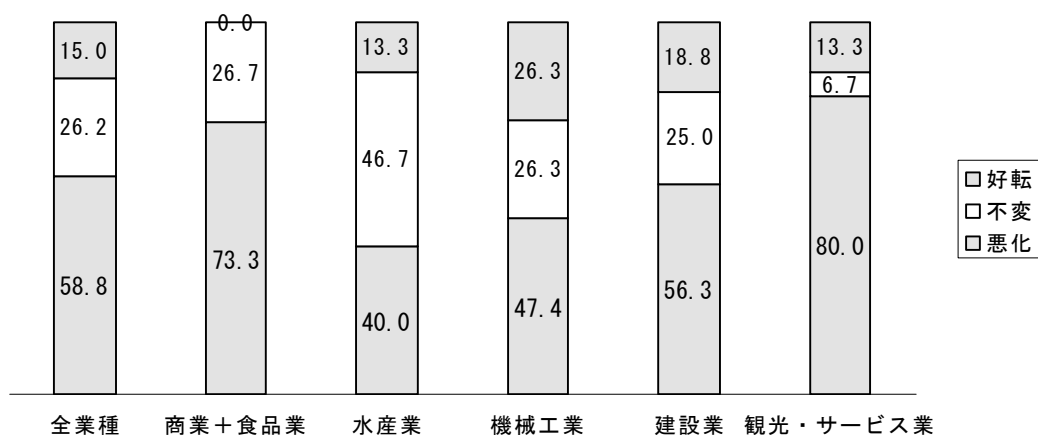
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△58.8→今期△73.3]、水産業[前期△21.1→今期△26.7]、機械工業[前期△56.3→今期△21.1]、建設業[前期△26.3→今期△37.5]、観光・サービス・諸業[前期△82.4→今期△66.7]となりました。今回の調査では、商業・食品業および建設業の業況の悪化が目立ちます。また、全業種の半数以上の企業が、来期の売上・生産高は減少すると回答しており、経営内容がより一層厳しくなっていると判断されます。

来期(平成21年1月～3月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIが22.4ポイント悪化(次期見通し△66.2)**するとの予測となっており、なかでも商業・食品業、機械工業、建設業、観光サービス業・諸業は、業況がさらに悪化するとの見方が非常に強まっており、年度の終わる3月まで予断が許さない状況です。年明け早々、サービス業の紋別ゴルフ場の7億8千万円の破産申請、水産加工業の(株)協冷も2億5千万円の破産申請が伝えられており、当所としては主な取引先などへの影響についても心配しているところです。

業況推移 (全業種平均D・I)



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、仕入れ単価の上昇が止まらないことを訴える声が多く寄せられ、人口減の心配や売上の減少などに不安を訴える声がさらに増えています。設備投資については前期同様、依然慎重な動きが続いています。

■部会別の動向

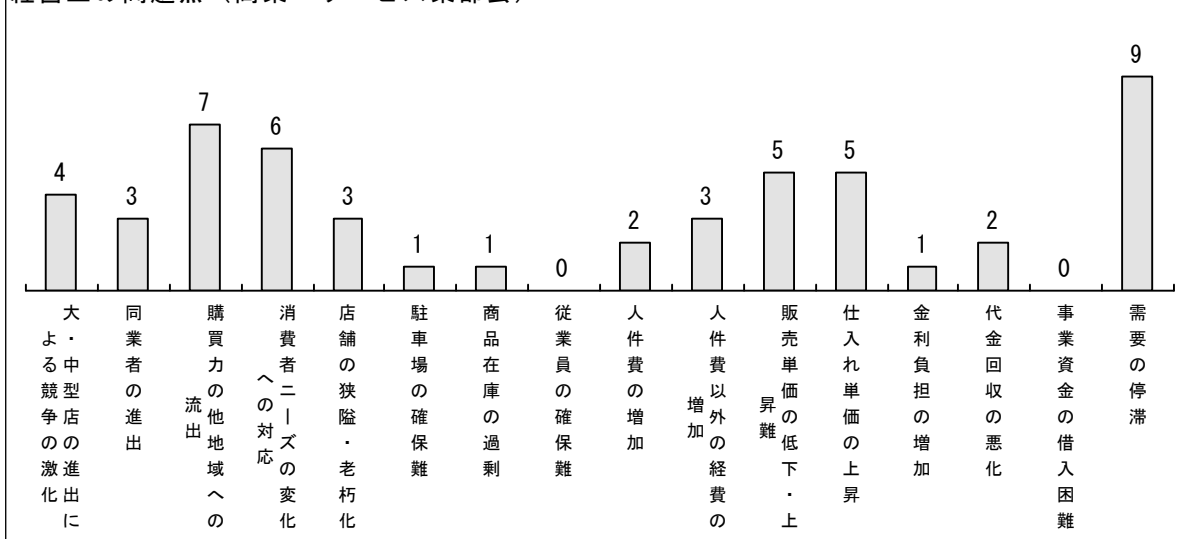
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 73.3$ （前期 $\Delta 58.8$ 、来期見通し $\Delta 80.0$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然厳しい状況で推移しています。年末商戦は思わしくない結果であったことが数字として表れております。経営上の問題点としては「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多くなっております。来期の見通しも悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・カタログネット販売での対応。（小売）
- ・紋別北高校閉校により売上減少（小売）

経営上の問題点（商業・サービス業部会）



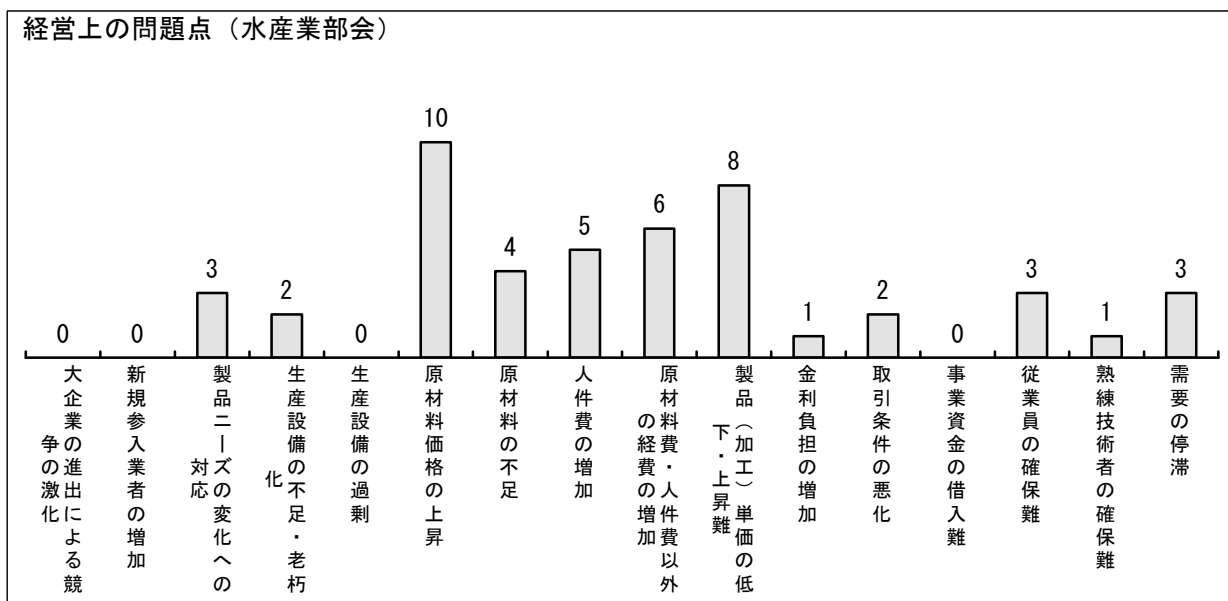
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 26.7$ （前期 $\Delta 21.1$ 、来期見通し $\Delta 40.0$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期の $\Delta 21.1$ から $\Delta 26.7$ ポイントへと悪化しています。前期報告の際、来期見通しは本格的な水揚げシーズンを期待して回復するだろうとの見通しが出ていたが、漁獲量の減少、石油製品の値上がりにより業況は悪化しているという結果になった。経営上の問題点としては「原材料価格の上昇」「製品単価の低下・上昇難」「原材料費人件費以外

の経費の増加」を訴える声が多くなっております。来期の見通しもさらに悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・ 原材料や資材等の値上げは財政圧迫。資金繰り、収益等の悪化の要因となっています。（水産加工）

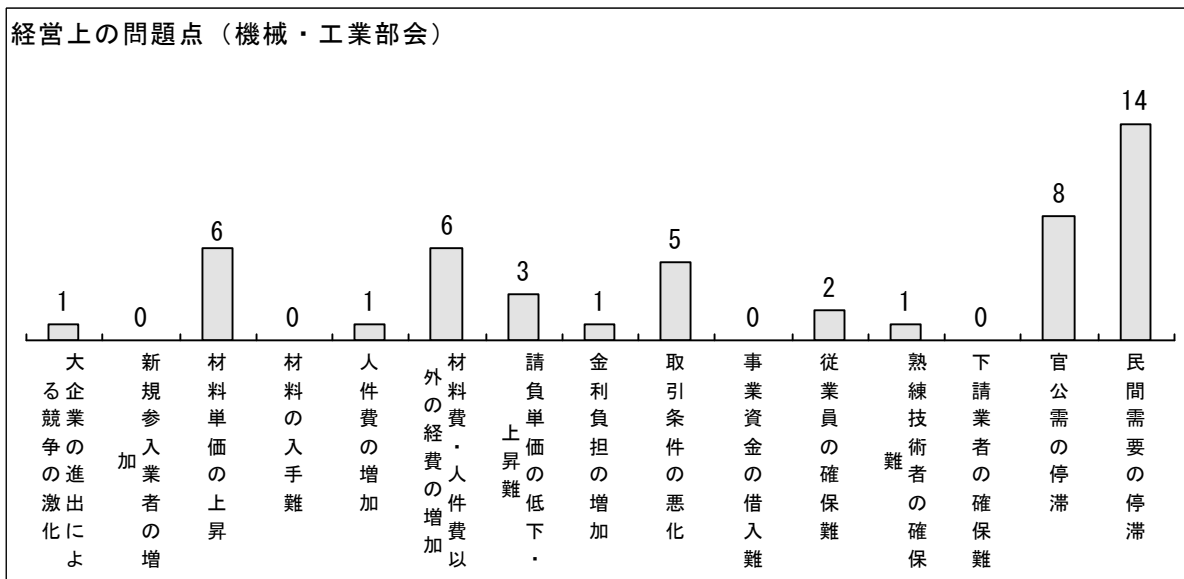


【機械工業部会】 [業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 21.1$ （前期 $\Delta 56.3$ 、来期見通し $\Delta 78.9$ ）]

業況判断DI値（前年同期比）は、前期比で35.2ポイント改善。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「材料単価の上昇」「材料費人件費以外の経費の増加」を訴える声が多くなっております。来期の見通しもさらに悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・ 自動車産業低迷による売上減少。金融危機、不景気による消費低迷。土木、建設業界の業績不振の影響（機械修理）
- ・ 若手技術者の育成（機械修理）
- ・ 農協関係の材料単価の上昇が激しく、生産物価格も上昇しているが、材料単価に追いつかない状況にある。（車両販売）

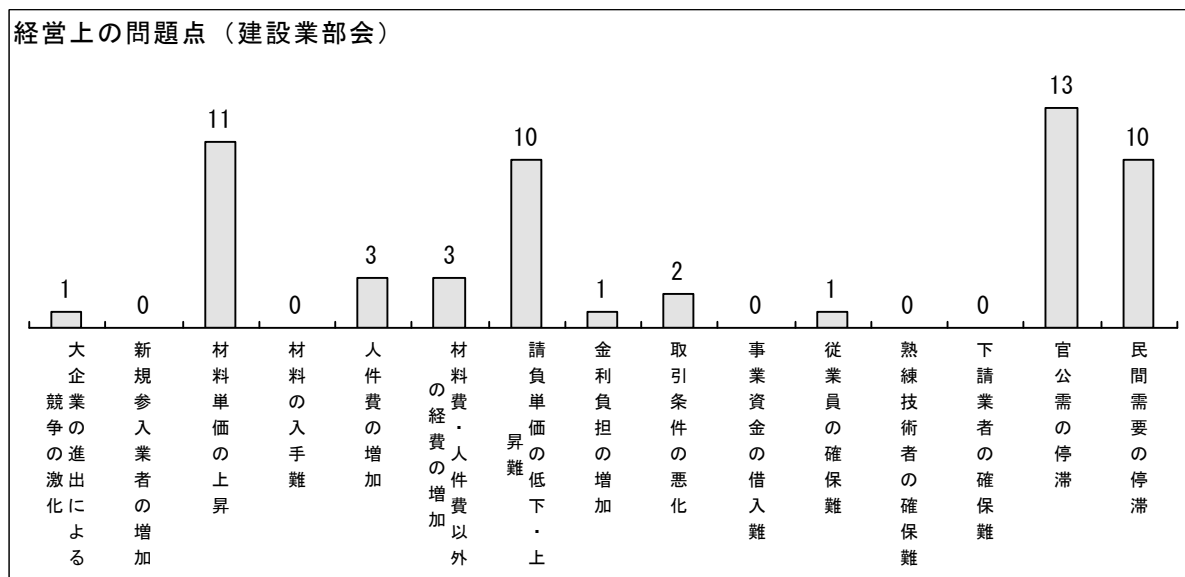


【建設業部会】 [業況判断DI値(前年同期比) $\Delta 37.5$ (前期 $\Delta 26.3$ 、来期見通し $\Delta 62.5$)]

業況判断DI値(前年同期比)は前期比11.2ポイントの悪化で厳しさを増しています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多くなっており、来期は極端に仕事の少ない冬期を迎えることもあり、見通しとしてはさらに悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・競争の激化により、請負単価が低下するにも関わらず、材料単価が上昇。(建設)



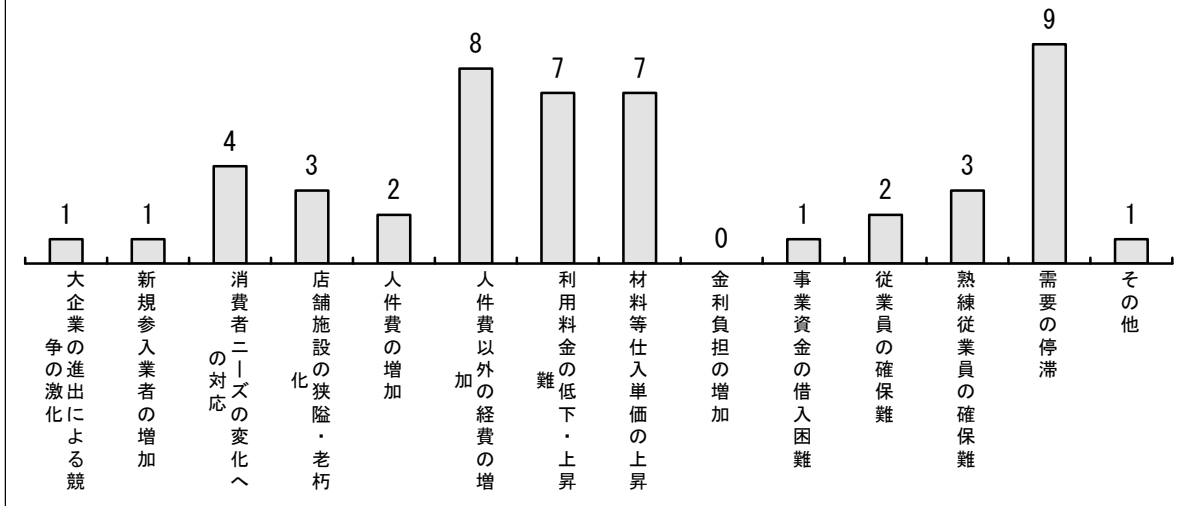
【観光・サービス部会】 [業況判断DI値(前年同期比) $\Delta 66.7$ (前期 $\Delta 82.4$ 、来期見通し $\Delta 66.7$)]

業況判断DI値(前年同期比)は前期よりも15.7ポイントと数字的には改善しておりますが、以前業況は悪い状況です。経営上の問題点としては、「需要の停滞」「材料等仕入れ単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」「利用料金の低下、上昇難」などを心配する声が多くなっており、来期の見通しは同じ水準で悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・個人の方ではもう限界まできている。かといって、共同企業体になれるような業種でもなし、明るい未来が見えてこないのが現状です。(飲食業)
- ・仕入単価の上昇が止まらない。(飲食業)
- ・今期も時期も「ハヒフヘホ」状態です。モオー大変!(飲食業)
- ・高齢化社会に伴う消費低迷等により、業界再編の動きが加速され、保険業界では勝ち組への組織強化が求められているが、若手の人材が不足している。(サービス業)

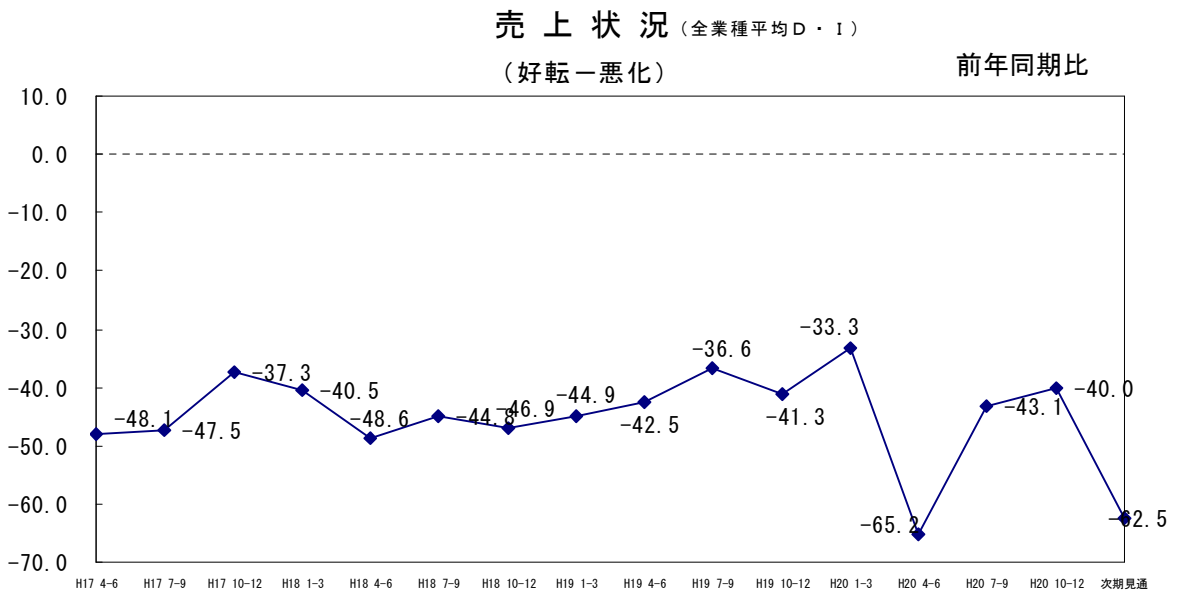
経営上の問題点（観光・サービス業・諸業部会）



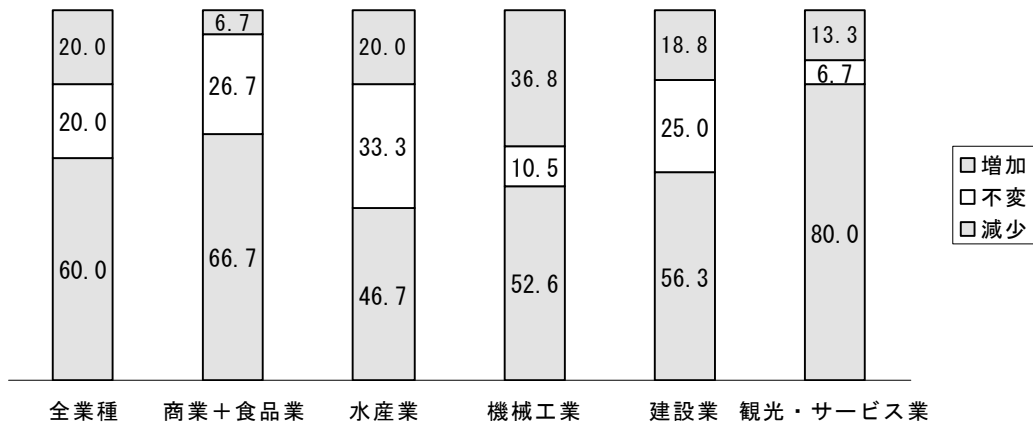
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

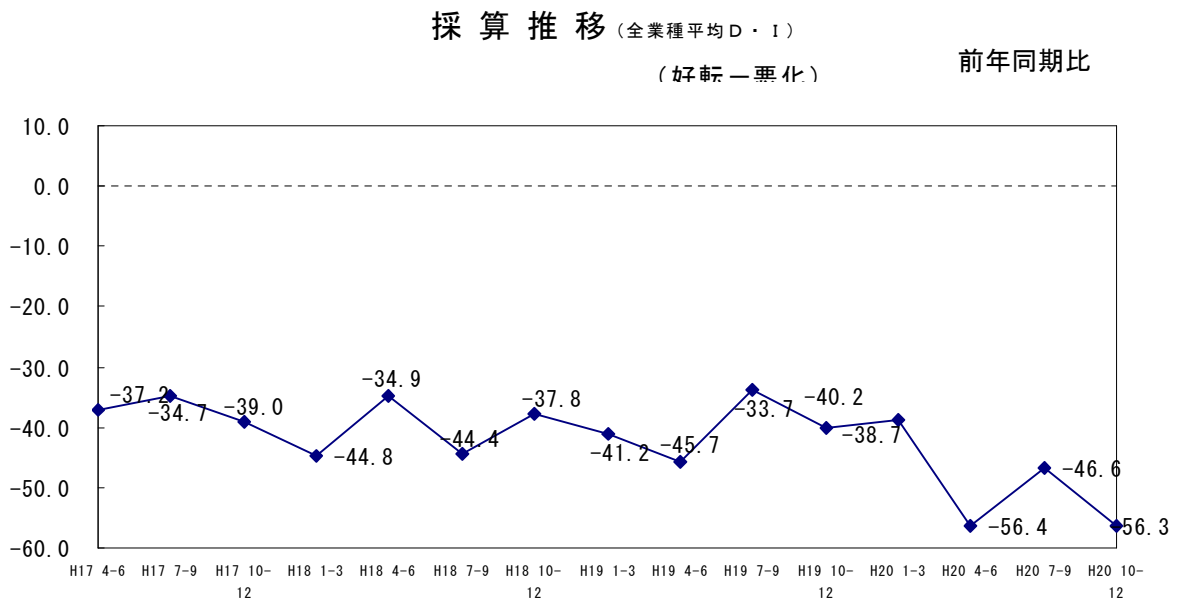


全業種平均でDI値△40.0〔前回調査時(平成20年7～9月期)△47.7〕より7.7ポイント改善。]
来期は22.5ポイント悪化し△62.5の見込み。

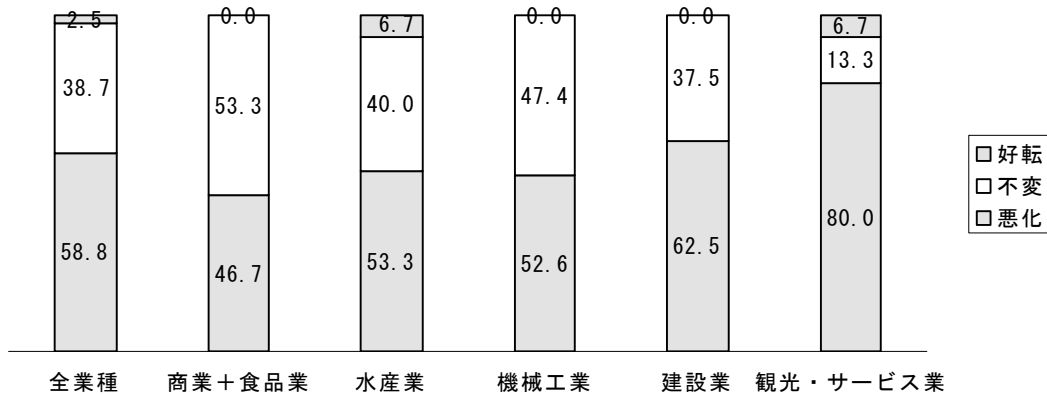
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△58.8→△60.0〕、水産業〔前回△21.1→△26.7〕
機械工業〔前回△56.3→△15.8〕、建設業〔前回△26.3→△37.5〕
観光・サービス業・諸業〔前回△82.4→△66.7〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準）



今期の採算（前年同期比）



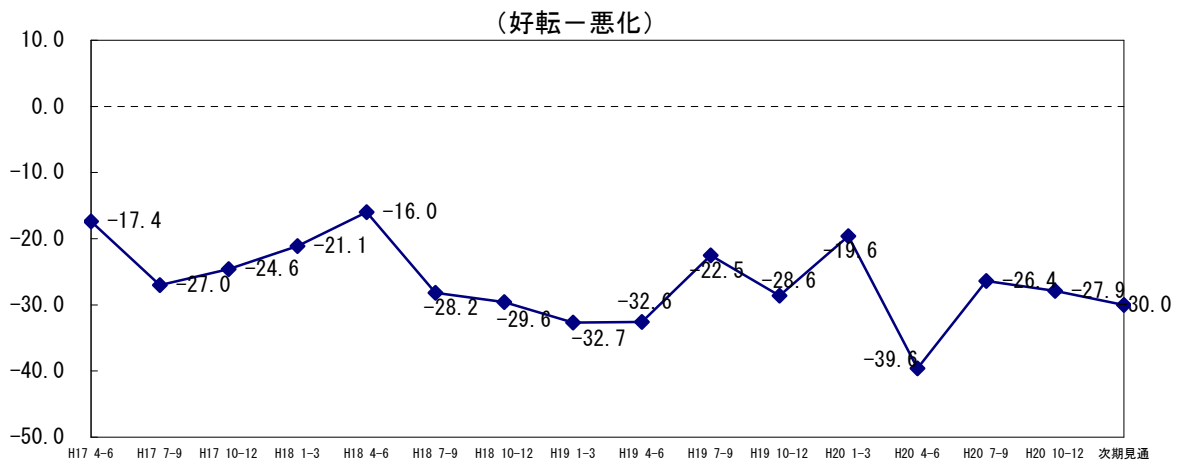
全業種平均でDI値△56.3〔前回調査時（平成20年7～9月期）△46.6〕より9.7ポイント悪化〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△47.1→△46.7〕、水産業〔前回△15.8→△46.7〕
 機械工業〔前回△50.0→△52.6〕、建設業〔前回△42.1→△62.5〕
 観光・サービス業諸業〔前回△82.4→△73.3〕

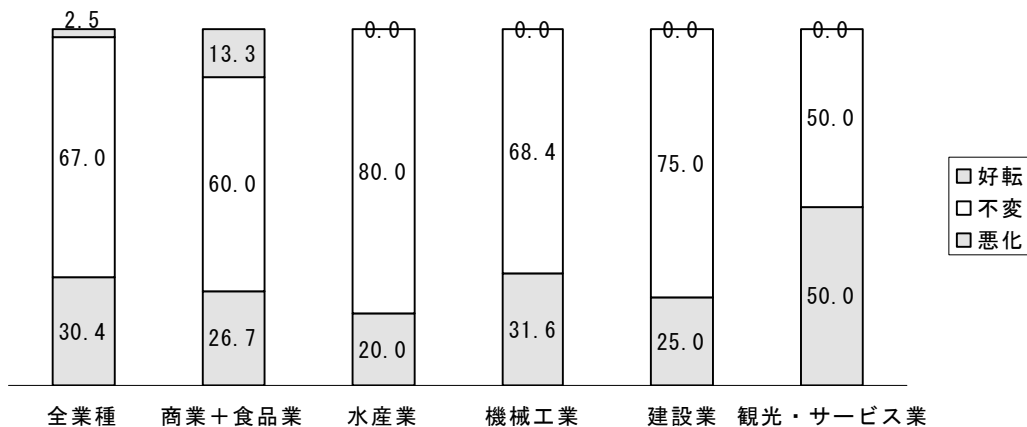
(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）

今期の資金繰り（全業種平均D・I）



今期の資金繰り（前年同期比）



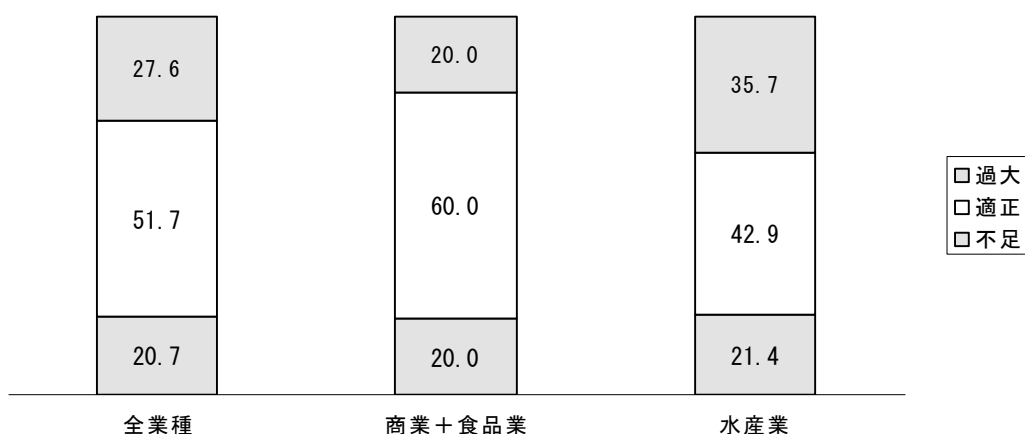
全業種平均でDI値 $\Delta 27.9$ 〔前回調査時（平成20年7～9月期 $\Delta 26.4$ ）より1.5ポイント悪化〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 23.5 \rightarrow \Delta 13.3$ 〕、水産業〔前回 $5.3 \rightarrow \Delta 20.0$ 〕
 機械工業〔前回 $\Delta 31.3 \rightarrow \Delta 31.6$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 31.6 \rightarrow \Delta 25.0$ 〕
 観光・サービス業諸業〔前回 $\Delta 56.3 \rightarrow \Delta 50.0$ 〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



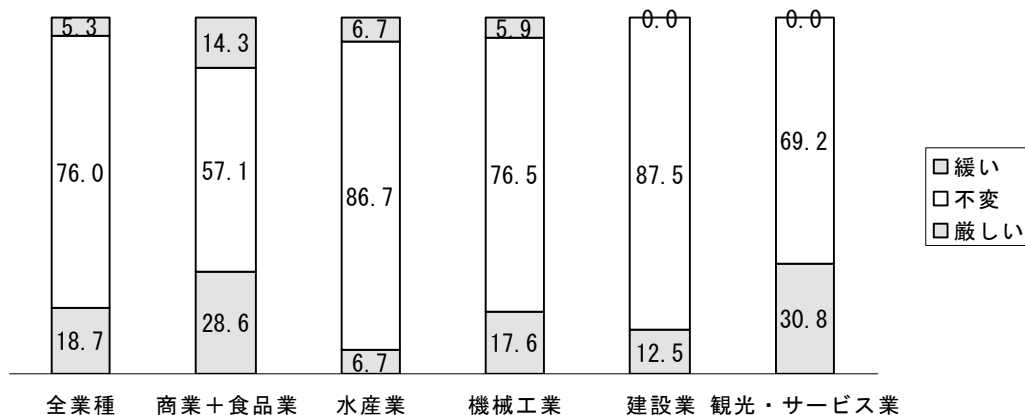
全業種平均でDI値 $+6.9$ 〔前回調査時（平成20年7～9月期 $+2.9$ ）より4.0ポイント在庫増加〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 11.8 \rightarrow 0.0$ 〕、水産業〔前回 $16.7 \rightarrow 14.3$ 〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

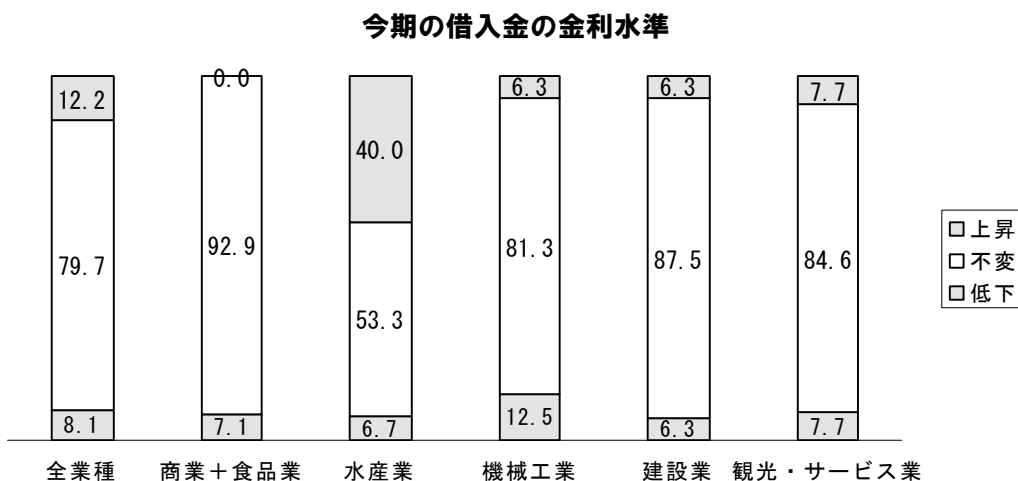
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で△13.4ポイント。商業食品業△14.3 水産業 0.0 機械工業△11.8 建設業△12.5 観光サービス業諸業△30.8。

(6) 今期の借入金の金利水準

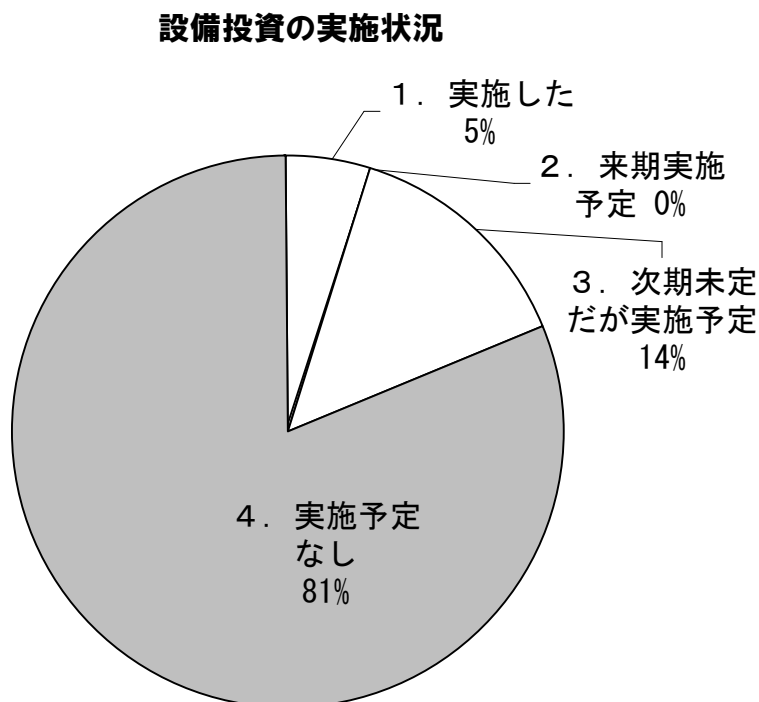
【前年同期比】（平成18年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で+26.8。商業食品業 25.0 水産業 65.2 機械工業 12.5 建設業 18.8 観光サービス業諸業△6.7。

(7) 設備投資の実施状況

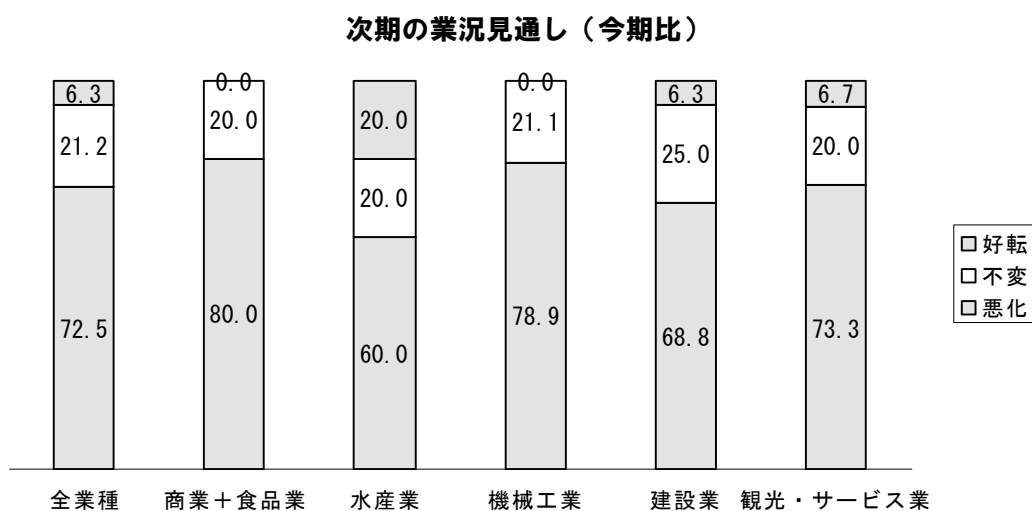
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

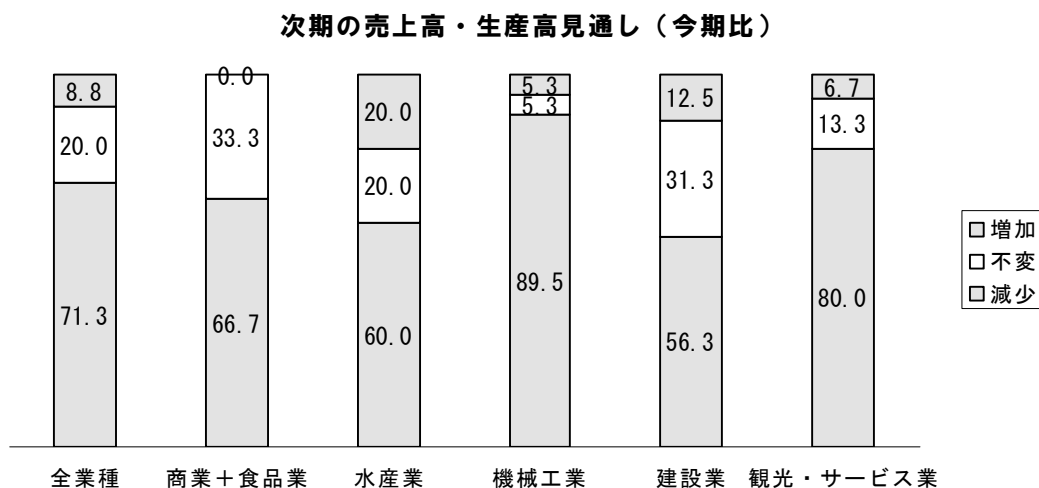
【今期比】（平成 20 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値 Δ 66.2 [今期の業況（前年同期比 Δ 43.8）より 22.4 ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 20 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

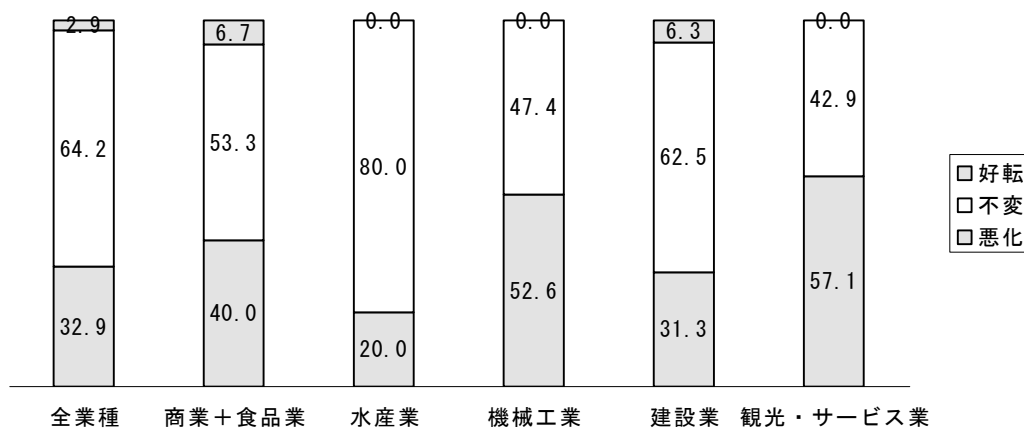


全業種平均 DI 値 Δ 62.5 [今期の売上高・生産高（前年同期比 Δ 40.0）より 22.5 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 20 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 30.0$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 27.9$ ）より 2.1 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\Delta 43.8$	$\Delta 73.3$	$\Delta 26.7$	$\Delta 21.1$	$\Delta 37.5$	$\Delta 66.7$
	来期見通し	$\Delta 66.2$	$\Delta 80.0$	$\Delta 40.0$	$\Delta 78.9$	$\Delta 62.5$	$\Delta 66.7$
売上 D・I	今期実績	$\Delta 40.0$	$\Delta 60.0$	$\Delta 26.7$	$\Delta 15.8$	$\Delta 37.5$	$\Delta 66.7$
	来期見通し	$\Delta 62.5$	$\Delta 66.7$	$\Delta 40.0$	$\Delta 84.2$	$\Delta 43.8$	$\Delta 73.3$
在庫 D・I	今期実績	6.9	0.0	14.3	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	$\Delta 56.3$	$\Delta 46.7$	$\Delta 46.7$	$\Delta 52.6$	$\Delta 62.5$	$\Delta 73.3$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	$\Delta 27.9$	$\Delta 13.3$	$\Delta 20.0$	$\Delta 31.6$	$\Delta 25.0$	$\Delta 50.0$
	来期見通し	$\Delta 30.0$	$\Delta 33.3$	$\Delta 20.0$	$\Delta 52.6$	$\Delta 25.0$	$\Delta 57.1$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	$\Delta 13.4$	$\Delta 14.3$	0.0	$\Delta 11.8$	$\Delta 12.5$	$\Delta 30.8$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	4.1	$\Delta 7.1$	33.3	$\Delta 6.3$	0.0	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。